



重点目標
「支え合い、高め合う学校」
「深く考え、表現する授業」

【学校経営の理念】
「子どもと向き合い 関わる学校」
〈めざす学校像〉
1. すべての活動を通して子どもの自己有用感を高める学校
2. 「子どもを真ん中において考える教育」を実践する学校

【東小CS 願う「東の子」の子ども像】
・ふるさとや地域を愛する子ども
・思いやりがあり、人間関係を大切にしている子ども
・学力・体力があり、たくましい子ども
・心身ともに元気で自己表現できる子ども

学校教育目標
・きたえる ・思いやる ・求める

コミュニティスクールの取り組み

- 東小CS学校運営委員による教育の効果検証
- 学習支援室等を活用しての適応指導による登校促進
- スクラムネット等による支援検討
- 読み聞かせ・囲碁ボランティア等による児童の個性の伸長
- 東小CSの行事安全部による見守り活動
- 保護者・子ども・地域の関係者との協働による教育環境整備

- | | |
|--|---|
| <p>たくましい体
たくましい心</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東っ子マラソン ○全校体育 ○新体力テスト ○児童会活動 ○健康教育
「東っ子元気集会」 | <p>あいさつ
ふれあい
支え合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ ○学年・学級づくり ○道徳・人権教育 ○交流活動 ○飼育、栽培活動 ○児童会活動 |
|--|---|
- ・「危機管理マニュアル」の見直し
・年3回の危機回避訓練・職員による定期的交通安全指導と巡回指導
・危機管理に係る職員研修会や講習会

自ら学ぶ 共に学ぶ(学力向上)

<p>授業改善</p> <p>(1)授業改善 「東小学習スタイル」や「ねらい・めりはり・見とどけ」を意識した授業づくり 授業の一人一公開</p> <p>(2)つける力の検証 PDCAサイクルによる検証と見直し CRTによる効果検証</p> <p>(3)指導力の向上 教師としての専門性を高める研修 職員研修の充実(児童理解など)</p> <p>(4)指導カリキュラムの作成と見直し</p>	<p>家庭学習</p> <p><低学年> ・音読、計算などの基礎基本を中心に家庭学習習慣の定着</p> <p><中学年> ・音読、計算などの基礎基本を継続的に取り組みながら、文章題にも取り組む</p> <p><高学年> ・知識や技能の定着の課題だけでなく、それを活用する課題を意図的に出題</p>
--	--

全校研究テーマ
「主体的に学びあい、豊かに表現する子どもの育成」
☆一人一人の子どもの実態に合う教育課程の編成(カリキュラムマネジメント)
☆一人一人の子どもが自らの考えを自分の言葉で表現できるための授業研究
☆子どもが、自分で自分の生活を改善し、学力を向上させようとする力をつけるための取り組み

地域や保護者との連携
・「東小グレードアッププラン」への取り組み (A学習習慣、B学ぶ意欲、C基本的な生活習慣、D体験ふれあい、E豊かな心、F勇気づけ) ・「きらり おおまち サンプラン」
・学級、学年通信・学校便り・PTA新聞による情報の発信 ・家庭学習の手引きの活用
・学校開放と行事における教育活動へのアンケート
・地域と連携して取り組むアルミ缶回収 ・信州型コミュニティスクールの取り組み

地域の環境や人に学ぶ活動
・豊かな自然の中で学ぶ野外体験学習
・地域の方を講師に招いて行う体験学習
・地域のお年寄りや福祉施設との交流
・信州型コミュニティスクール

子ども一人一人を大切にする教育
・記録の積み重ねを基にした確かな児童理解
・進んで子どもと遊ぶコミュニケーション作り
・子どもの変化を見逃さないきめ細かな目配りと場に応じた速やかな対応
・日常的な情報交換と全職員での課題の共有化全校体制での支援・協力
・保護者との共通意識・共通理解を大切にした支援